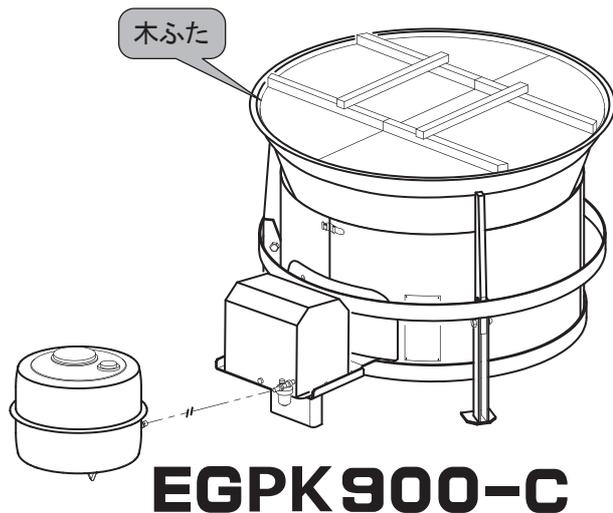
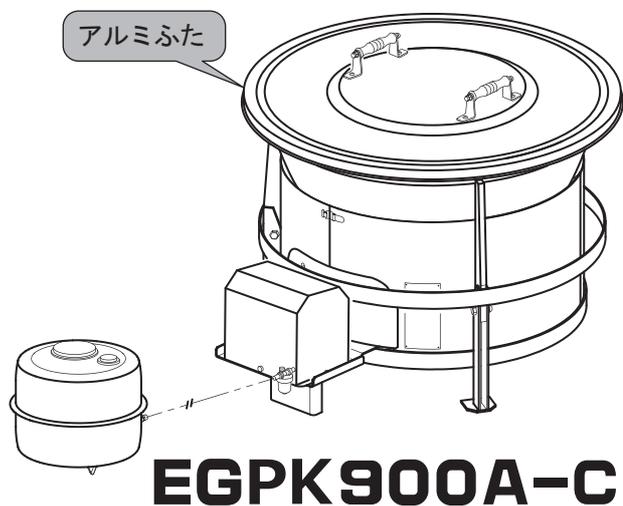


ダイヤ 移動かまどEGPK900A-C EGPK900-C 取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、安全で正しいご使用をお願いいたします。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管して下さい。



本書に記載されているイラストはイメージ図です。

もくじ

必ず読む

重要なお知らせ	1
安全上のご注意	2
警告表示について	
使用上のご注意	
各部の名称とはたらき	3,4

ご使用方法

組立・収納手順	5～8
組立手順	
収納手順	

必要に応じて読む

保守・点検	9～12
バーナーに関する注意事項	
故障・対策	13,14
お手入れ方法	15
初めてお使いになる前に	
使用後のお手入れ	
仕様	15
セット内容	
基本スペック	
お問い合わせ	15

重要なお知らせ

■使用目的・用途について

- この製品（移動かまど）は、屋外で平釜を使って炊き出しをする際の組立式調理器です。
- 障害の発生を避けるため、本来の使用目的以外の移動かまどの使用や、この取扱説明書に述べている以外の使用方法・保守作業はおやめください。

■取扱上の注意

- この「取扱説明書」は安全に関する事項、使用およびお手入れ方法の手順を説明しています。大和重工株式会社（以降当社と記す）は、この取扱説明書記載の指示事項を守らなかったり、移動かまどを改造したり、ご使用中通常必要とされる注意・用心をしないで生じた損害・障害に対しては一切責任を負いません。
- 移動かまどをご使用およびお手入れする場合は、この取扱説明書に記載されている事項に限らず、事故防止対策に関しては十分な配慮が必要です。
- この取扱説明書は、日本語を母国語とする人を対象に作成しています。日本語を母国語としない人がこの移動かまどを取り扱う場合は、取扱者に対して安全指導を徹底してください。

安全上のご注意

この安全上の注意をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

■警告表示について

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
- 表示マークについて…誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を次の表示マークで区分し、説明しています。



おこなってはいけない「**禁止**」の内容です。



必ず実行していただく「**強制**」の内容です。

■使用上のご注意

⚠ 警告

	燃焼中、及び消火後しばらくは、高温ですので素手で触れないで下さい。特に小さなお子様には十分注意して下さい。
	燃料タンクからの配管各部、バーナー周りからの油漏れが無いが、確認してください。火災の恐れがあります。
	平釜を使った炊き出し以外でのご使用はしないでください。※平釜を使った炊き出し以外でのご使用による故障は保障いたしかねます。
	ガソリン、シンナー厳禁。 ガソリン、シンナーなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。爆発、火災の恐れがあります。
	燃焼空気取り入れ部近くに、物品を置いたり、紙、ビニール等を放置しないでください。 取り入れ口に吸い込んだりして、不完全燃焼となりガス中毒の恐れがあります。
	油切れ、故障などでバーナーの安全リレーが働き、電源が切れた時は、原因を取り除きリセットボタンを押して再起動してください。 リセットボタンを押しても着火しない場合は専門知識のある専門業者に依頼してください。 リセットボタンの再起動を繰り返しますと、燃料油が溜まり爆発、火災の恐れがあります。
	電気製品には、水がかからないようにしてください。漏電、感電、使用機器の著しい短寿命化の恐れがあります。

⚠ 注意

	異常に炎を上げたり、空焚きをしないでください。ケガやヤケド、火災の原因となります。
	平釜でお湯などを沸かしすぎた場合、急に蓋を開けたりしないで下さい。湯気、または熱湯でヤケドをする恐れがあります。
	平釜を持ち上げたりする時は、必ず両手でしっかり持ってください。すべり落ちてケガをする恐れがあります。
	燃焼中、及び消火後しばらくは、かまど、平釜、カバー、蓋は高温となります。これらに触れる場合には厚手の手袋を着用してください。
	かまど、平釜、ロストルを落としたり、硬いものをぶつけたりしないでください。破損する恐れがあります。
	燃料に薪を使った場合、無理に薪を突っ込むとロストルが変形することがあります。 また高温により地面を痛めてしまう場合がありますので注意してください。
	支柱で平釜を支えるため、必ず支柱を起こしてご使用ください。
	修理技術者（メーカー）以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 発火したり、異常動作してけが、爆発、火災の恐れがあります。
	燃料タンクはバーナーの送油管接続位置から水平～タンク上面まで1m以下が適当です。 また、送油管は途中が中高にならないように設置してください。 この条件を守らない場合、配管内のエアが抜けないなどして爆発の恐れや、ポンプ等の消耗が著しく早くなります。
	電源はバーナー電圧を確認して合わせてください。 電圧を間違えたりすると、感電や火災の恐れがあります。
	使用時には、取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。尚、取扱説明書は、必ず保管してください。
	バーナー周辺には、燃えやすいものを置かないでください。火災の恐れがあります。
	バーナーの周辺でガソリン、ベンジン、シンナー等の引火性のものや、ヘアースプレー、ラッカー、ペイント等の可燃性スプレーを使用、放置しないでください。
	燃焼中には空気が必要ですので、燃焼量に見合った空気量が外部から入るようにしてください。異常燃焼や中毒の可能性があります。
	バーナー燃焼の、排気ガスが正しく排気できるように移動かまどが設置されているか、点検してください。 設置に不備があると、火災の危険や排ガスが漏れて、中毒の恐れがあります。
	はじめてご使用の場合は、取扱説明書をよく読んで正しくエア抜きを行い使用してください。 エア抜きが不完全ですと、爆発の危険や、ポンプの消耗が速くなります。
	エア抜き終了後は、かまど内やバーナー周辺に油が溜まっていないのを確認してからバーナーを運転してください。 かまど内やバーナー周辺に油が溜まったまま着火させますと、爆発や火災の恐れがあります。
	必ずカバーをした状態で運転してください。 運転中は、イグナイターの高圧リード線には触れないでください。感電の恐れがあります。
	運転中にエア吸込み口や、モーターの隙間に手などを入れないでください。けがをする恐れがあります。
	運転中や消火直後は、高温部に手を触れないでください。やけどの恐れがあります。
濡れた手で運転操作をしないでください。感電の恐れがあります。	
電源プラグの抜き差しによりバーナーの運転や停止をしないでください。感電や火災の原因になります。	
点検時は必ず元電源を切ってください。けがや感電の恐れがあります。	
点検時、高温部分は充分冷却してから行ってください。やけどの恐れがあります。	
バーナーは3ヶ月を目途に、保守点検を行ってください。	

各部の名称とはたらき

●移動かまど 基本セット

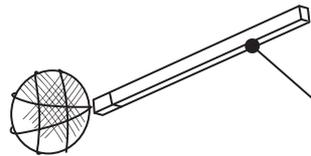
ふた (アルミまたは木)

平釜

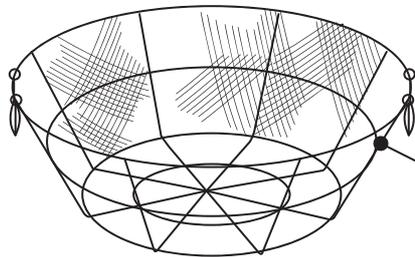
カバー

かまど

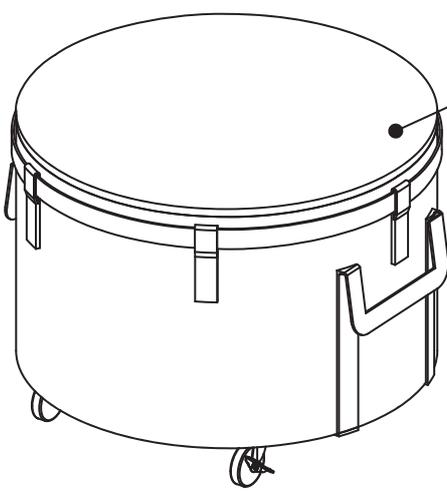
ロストル



すくい網



揚げザル



収納袋

●灯油バーナーセット

バーナーセット板

焚口カバー

シームレスホース

燃料タンク

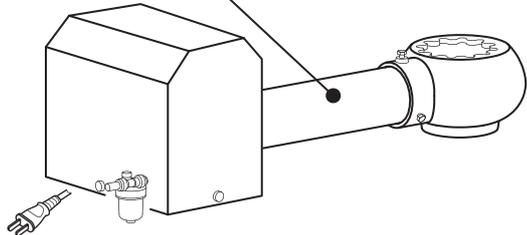
交換用ノズル
(ケース入り)

収納箱兼タンク台

灯油バーナー

スパナ

レンチ



電源 AC100V 50/60Hz が必要です。

各部の名称とはたらき

はたらき

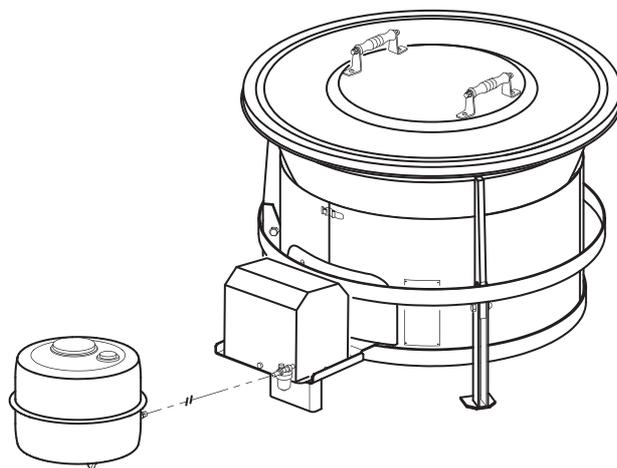
●移動かまど 基本セット

- ・ふた…調理中にゴミが入るのを防ぐ。
- ・すくい網…調理やゆで揚げに使用。
- ・揚げザル…調理やゆで揚げに使用。
- ・平釜…調理や湯沸しに使用。
- ・カバー…風などの熱のロスを防ぐ。
- ・ロストル…薪焚きするとき、直火を防ぐ。
- ・かまど…燃焼炉。
- ・収納袋…収納、運搬に使用。

●灯油バーナーセット

- ・焚口カバー…風などの熱のロスを防ぐ。
- ・バーナーセット板…炎が効率よく平釜に当たる位置にセットするための置き台。
- ・燃料タンク…燃料供給用タンク。
- ・灯油バーナー…加熱器。
- ・シームレスホース…燃料供給用ホース。
- ・交換ノズル…交換用ノズル。
- ・スパナ…シームレスホースを灯油バーナー、燃料タンクに締めこむ。
- ・レンチ…ノズル交換に使用。
- ・収納箱…収納、運搬に使用。

電源	AC100V 50/60Hz
燃料	JIS 1号 灯油（白灯油）

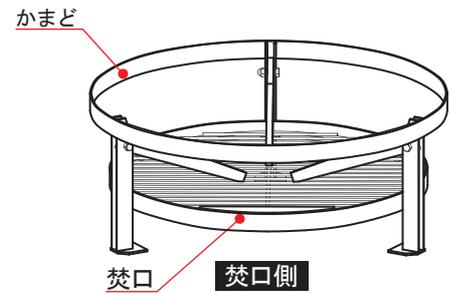


※組立完了イメージ

組立手順 1

1 かまどを平らな場所に置く。

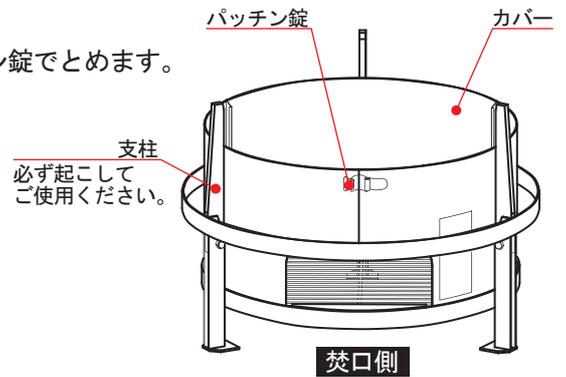
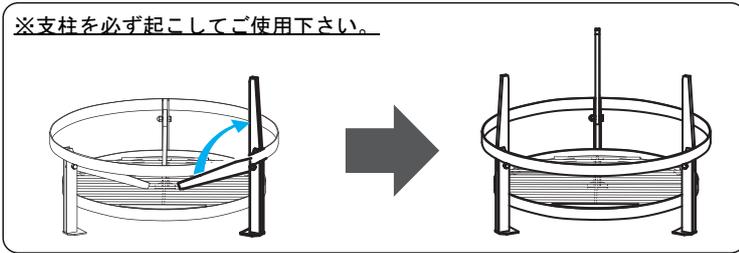
焚口は風が入り込みにくい方向に向け、かまどを平らな場所におきます。
(図の手前側が焚口です。)



2 支柱を起し、カバーをはめる。

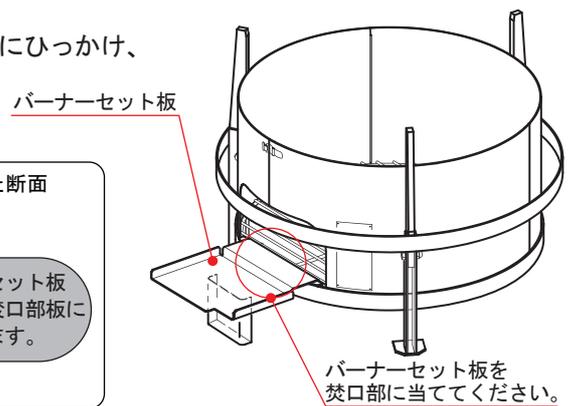
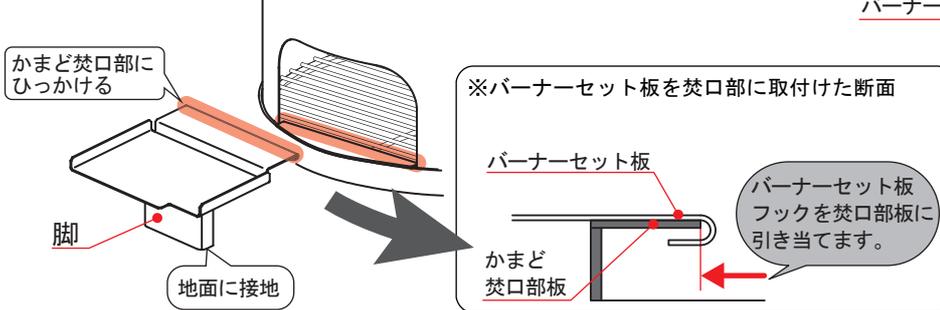
かまどの支柱を起し、カバー（3枚）を焚口の方からはめ込み、パッチン錠でとめます。
(焚口側にカバー開口部がくるようにはめ込んでください。)

※支柱を必ず起こしてご使用下さい。



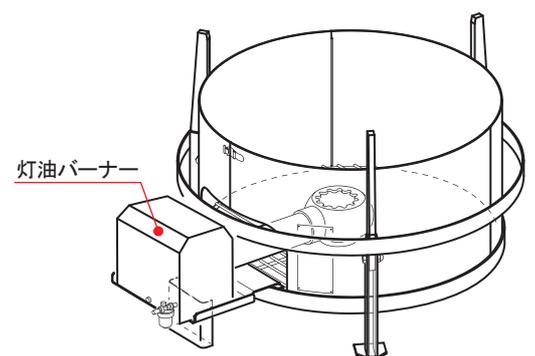
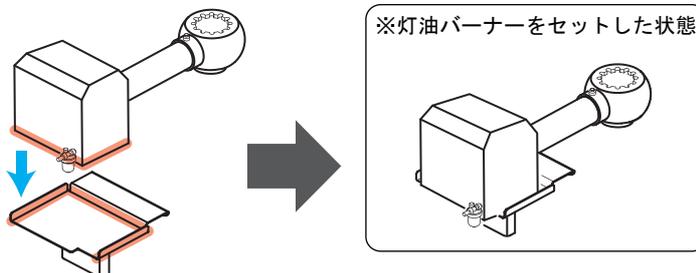
3 バーナーセット板をセットする。

カバー開口部からバーナーセット板を差し込み、軽く手前に引いて焚口部にひっかけ、脚を地面に接地します。



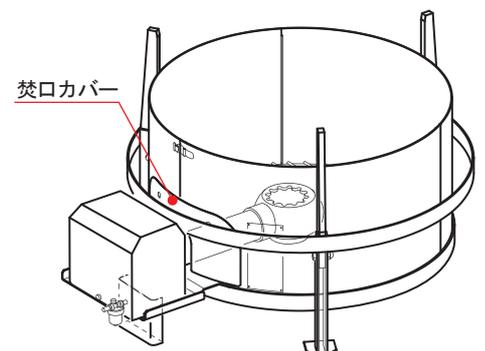
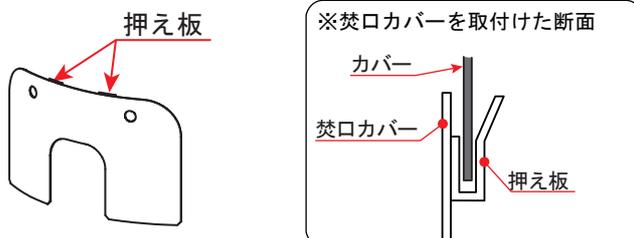
4 灯油バーナーをセットする。

灯油バーナーをセット板の箱の部分に置きます。



5 焚口カバーをセットする。

焚口カバー上部の押え板をカバー開口部にはめ込み、カバーにそって取付けます。



組立手順 2

5 シームレスホースを取付ける。

燃料タンクと灯油バーナーにシームレスホースのナットを締め込んでください。

※燃料タンクの据付は以下の条件で行ってください。

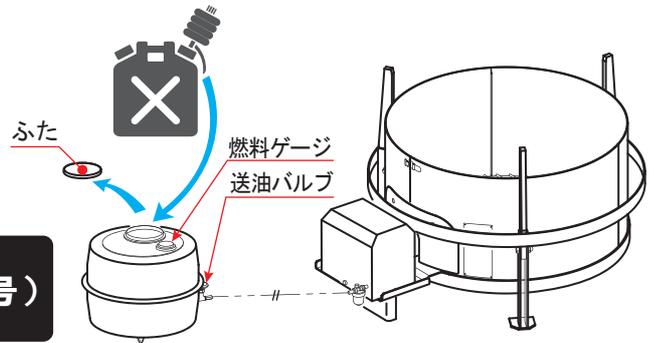
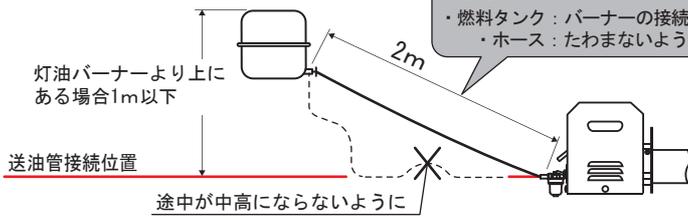
※設置のコツ

- ・燃料タンク：バーナーの接続位置より上。
- ・ホース：たわまないように。

シームレスホース

燃料タンク

シームレスホースのナットを締め込む



6 燃料タンクに給油する。

送油バルブが閉まっていることを確認してください。

燃料タンクの給油口ふたを外し、灯油を燃料ゲージを見ながら給油してください。

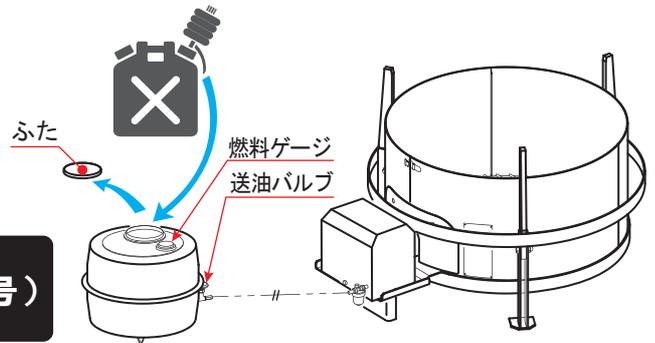
こぼれた灯油はよくふき取ってください。

給油口のふたは必ず元通り閉めてください。

燃料ゲージ

送油バルブ

※燃料は必ず
灯油 (JIS 1号)
をご使用ください。



7 燃料タンク送油バルブの空気抜き。

灯油バーナー側のシームレスホース取付部のナットをゆるめ、燃料タンクの送油バルブを「開」にし、灯油が連続して出るようになったらナットを締めてください。

こぼれた油はふき取ってください。

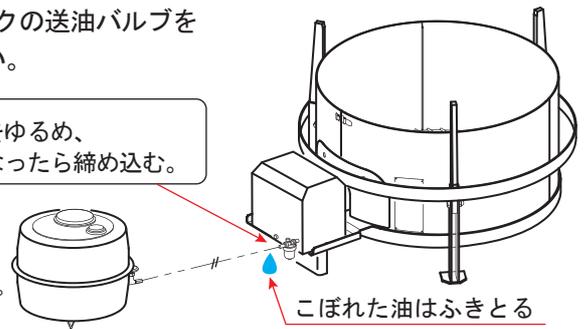
灯油バーナー側

シームレスホースのナットをゆるめ、
灯油が連続して出るようになったら締め込む。

※空気が混入していると始動着火ができません。

少量の場合は、リセットボタンの再始動で着火します。

※大量の空気残りは、機器の故障につながるため、必ず空気抜きを行ってください。
(P10参照)



8 運転開始前の準備と確認。

電源コードをコンセントにしっかり差し込んでください。

電源スイッチを ON にし試運転し、着火確認後、OFF にして停止します。

・運転

電源スイッチを ON にしてください。

※点火しない場合は安全装置が働いています。

・停止

電源スイッチを OFF にしてください。

※安全装置が働いてバーナーが停止した場合には原因を取り除いてからリセットボタンを押してください。

・操作手順

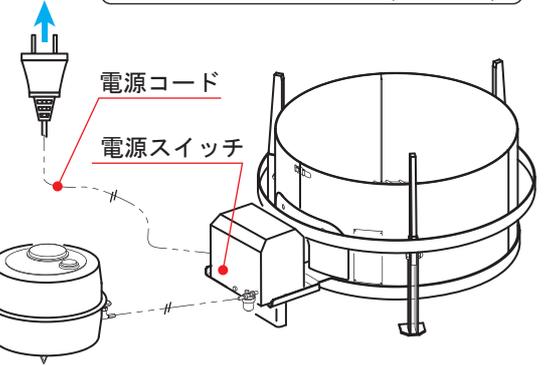
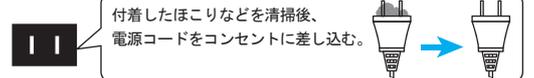
①スイッチを以下の状態にする。

・電源…ON ・火力…高燃

②リセットボタンを押す。



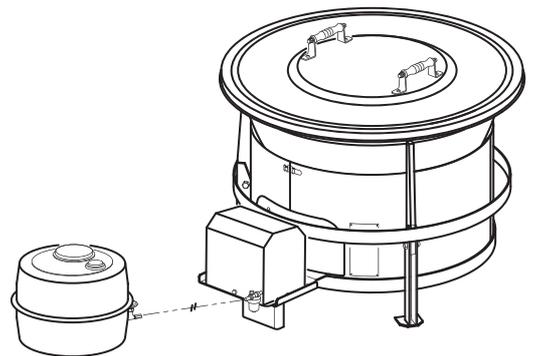
付着したほこりなどを清掃後、
電源コードをコンセントに差し込む。



9 平釜・ふたをセットする。

平釜をかまどの脚にのせます。(水平になるようにのせてください。)

用途に合わせて、ふたをご使用ください。



※平釜をのせる前に 8 バーナーの着火確認をしてください。

P9～11 “バーナーに関する注意事項”をお読みください

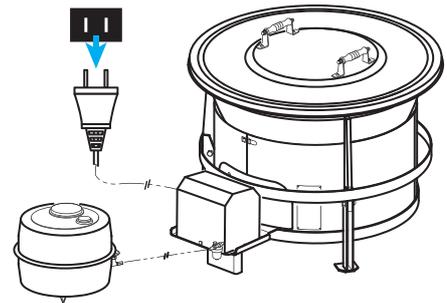
収納手順 1 : バーナーセットの収納

使用後、各パーツが完全に熱が冷めていることを確認の上、収納してください。

1 電源コードを抜く。

運転が停止しているのを確認し、電源コードをコンセントから抜く。

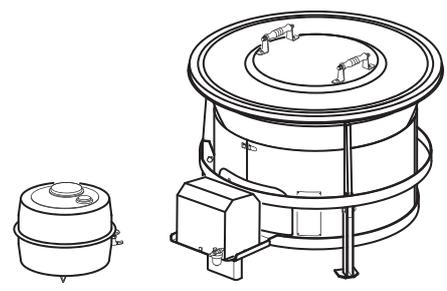
※停止方法
電源スイッチをOFFにします。



2 シームレスホースを取り外す。

燃料タンクの送油バルブを閉めます。
シームレスホースのナットをゆるめ、取り外します。

※シームレスホースを取り外す際、ホース内の灯油がこぼれることがあるのでご注意ください。
こぼれた灯油はよくふき取ってください。



3 シームレスホース、燃料タンクの灯油を抜く。

シームレスホース内に残っている灯油を抜きます。
燃料タンク内の灯油は使い切るか抜いて必ず空にしてください。

※太陽光や熱による変質、水や灯油以外の油やごみ等の混入で不良灯油になることがあります。
不良灯油を使用すると動作不良を引き起こし、場合によっては故障することがあるため、必ず空にしてください。
灯油を廃棄する場合は、購入した石油販売店などに相談するか、使用場所の行政の指示に従ってください。

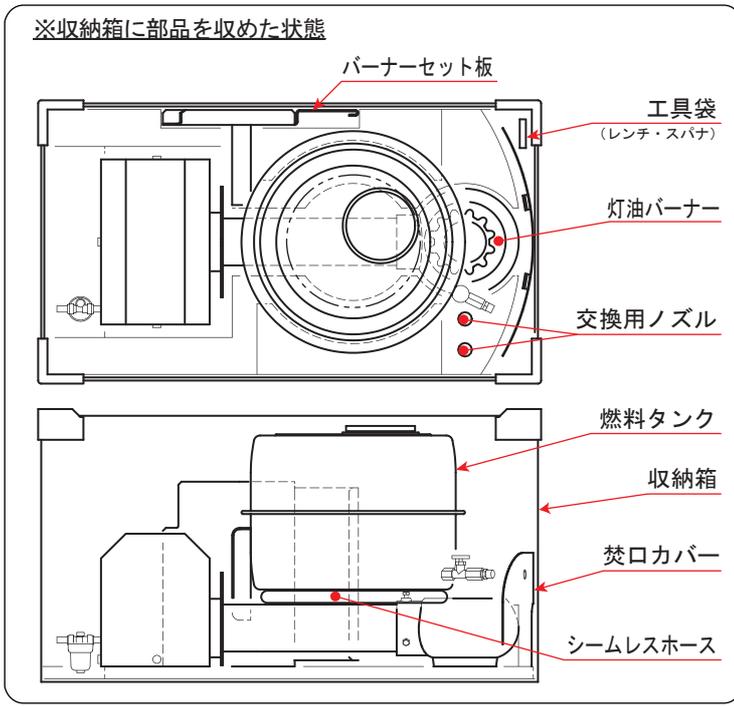
4 焚口カバー、灯油バーナー、バーナーセット板を外す。

焚口カバーを外します。
灯油バーナーを外します。
バーナーセット板を外し、脚をたたみます。

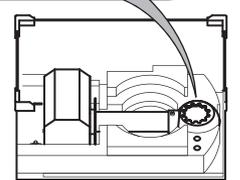
5 収納箱に部品を収める。

中敷のみぞに沿って灯油バーナー、バーナーセット板、燃料タンク、焚口カバーを収納します。

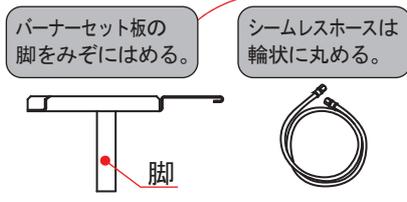
上向きコーンをガイドに落とし込む



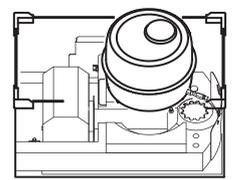
① 灯油バーナーを収納する。
・電源コードは任意にまとめて収納してください。



② バーナーセット板、シームレスホース、焚口カバーを収納する。



③ 燃料タンクを収納する。
・シームレスホースの上に収納します。



工具を収めます。
収納箱のふたをかぶせ完了です。

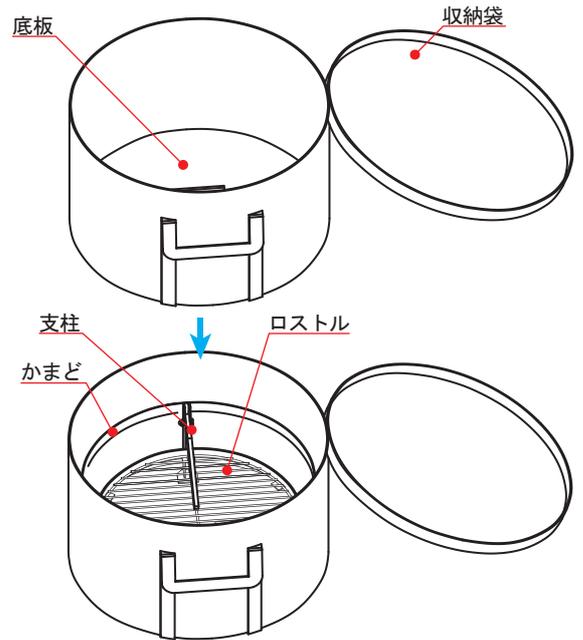
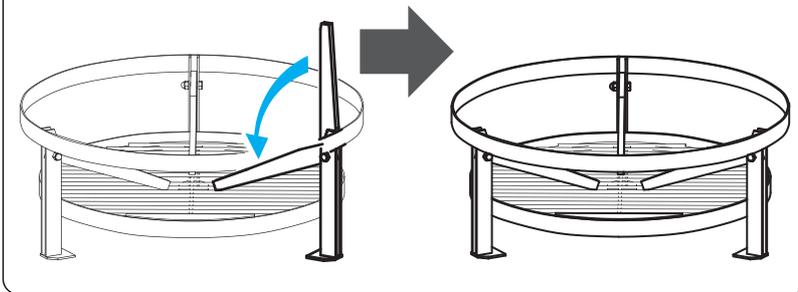
収納手順 2：移動かまど基本セットの収納

使用後、各パーツが完全に熱が冷めていることを確認の上、収納してください。

1 収納袋にかまどを収め、支柱を倒す。

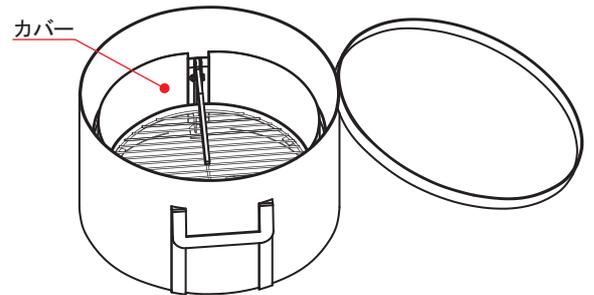
ロストルをセットしたかまどを収納袋底板に置き、支柱を倒します。
※収納袋を強く引っ張らないでください。

※支柱を必ず倒してご収納下さい。



2 カバーを納める。

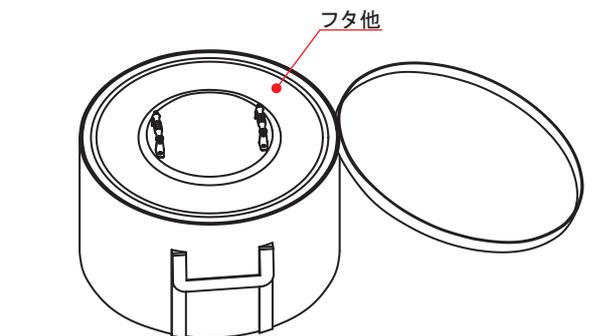
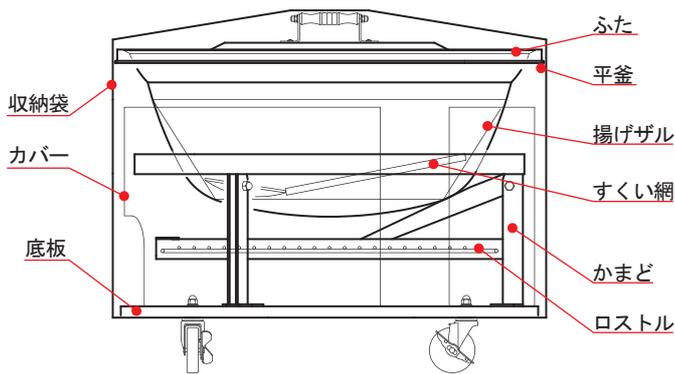
カバーをかまどに沿うように入れます。



3 平釜・その他部品を納める。

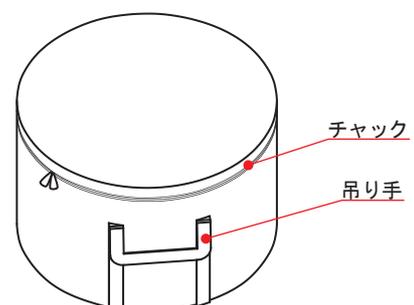
平釜を上からのせ、揚げザル、すくい網を平釜に入れ、ふたをします。

※収納袋に部品を収めた状態



4 チャックを閉める。

収納袋を均一に伸ばしながらチャックを閉める。
収納袋の吊り手を持って運びます。

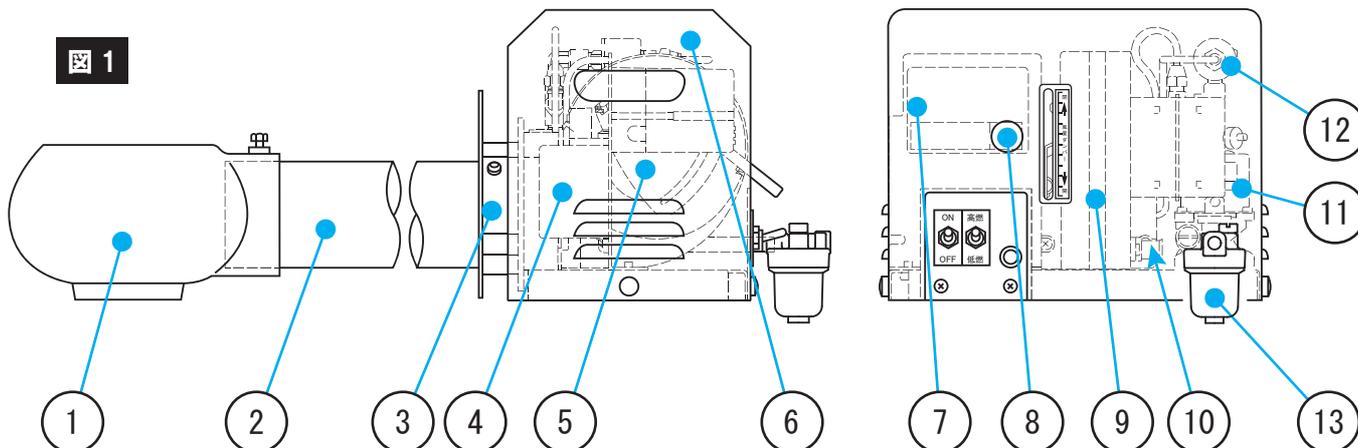


保守・点検

● バーナーに関する注意事項

1. バーナー部品の名称

図 1



- | | | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1 上向きコーン | 4 イグナイター | 7 バーコンリレー | 11 電磁ポンプ |
| 2 ドラフトチューブ | 5 エアシャッター | 8 リセットボタン | 12 電磁弁 |
| 3 本体 | 6 カバー | 9 ブロアー | 13 ストレーナー |
| | | 10 フレームアイ | |

2. 据付

A. バーナー据付

1) バーナーセット板に取り付けた際、運転中にバーナーが動かないようにスタンドを固定してください。

注:シールテープまたはシール材は油配管専用タイプを使用してください。

2) オイルストレーナーを現場組付け時は図2のように※印部にシールテープを巻いて油漏れのないよう十分締め付けてください。(納品時は組付け済)

3) 上向きコーンにゆるみがないか確認してください。

4) カバーにゆるみがないか確認してください。

B. 燃料油の配管

1) バーナーとの接続は付属のシームレスホース (2m) で行ってください。

注:ビニールホースの使用は不可。

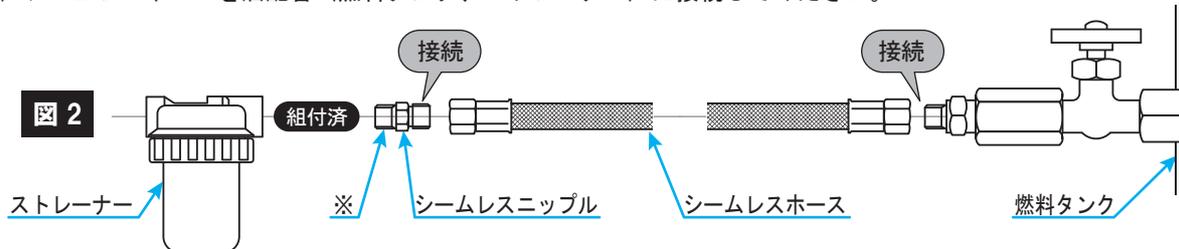
2) 燃料タンク設置に際してはバーナーより2mはなしてください。

3) 燃料タンクはバーナーの据え付け面からタンク上面まで+1m以下が適当です。

5) 図2のようにストレーナーの油入口にシームレスニップルをつけてシームレスホースと接続してください。

(※納品時は組付け済)

6) シームレスホースを油配管 (燃料タンク、ストレーナー) に接続してください。



3. 運転準備

1) バーナー周辺には燃えやすいものや、ガソリン、ベンジン、シンナー等の引火性のものを使用したり放置しないでください。

2) 燃焼量に見合った空気量が外部から取り入れられるか確認してください。

3) 燃料タンクに指定の油が入っているか確認する。

注:ガソリン、シンナーなどの揮発性の燃料は絶対に使用しないでください。燃料種は白灯油です。

保守・点検

4. 運転

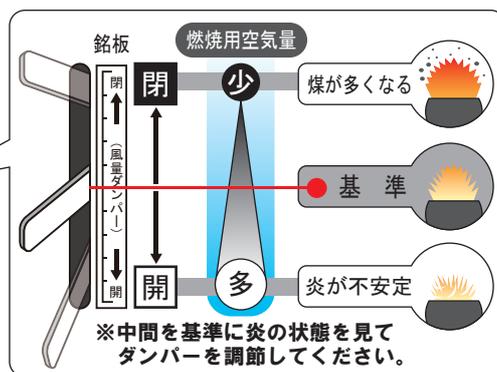
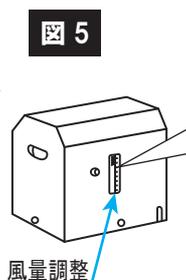
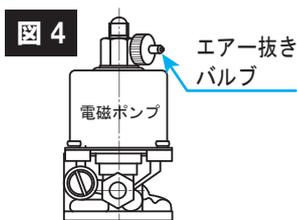
A. 始動運転

- 1) 図3のようにバーナーのシームレスホースを外し、送油バルブを開けて油を空き缶に受け配管中のエアを抜きます。
- 2) ホース接続後、タンクを手で上方に持ち上げると、バーナー内部の電磁ポンプまで燃料が届きやすくなります。
- 3) 通常はここまでで十分ですが更に空気を抜く場合には電磁ポンプのエア抜きを行ってください。

※電磁ポンプのエア抜きの方法

図4の電磁ポンプのエア抜きバルブを開き、ポンプから泡の状態が無くなり油が勢いよく出るまでバーナーの断続運転を繰り返します。

- 4) 燃焼用空気量の調整は、図5のようにダンパー調整板を開閉させて、適正空気量になるように調整してください。



B. 運転中の燃焼チェック

- 1) 配管システムから油漏れはないか。
- 2) 着火を繰り返してもスムーズに着火するか。
- 3) 安定した燃焼音か。

5. 部品の説明

A. ノズル

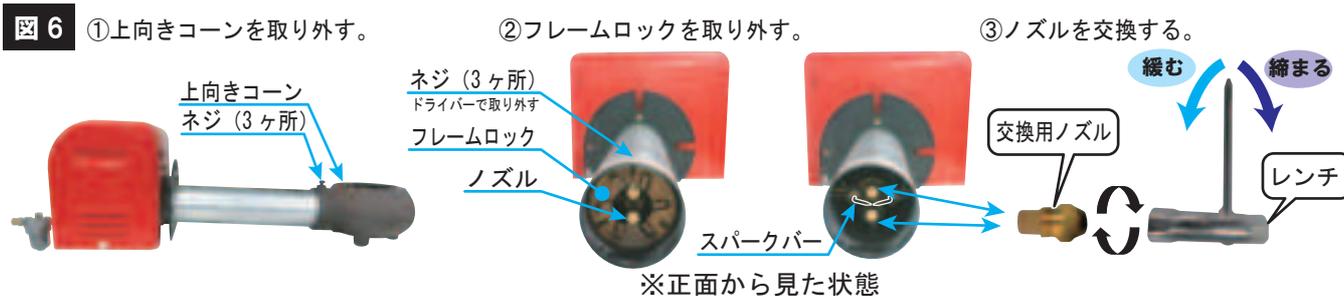
燃料を完全燃焼するように噴霧させる働きをしています。ゴミが詰まったりカーボンが付着すると噴霧状態が悪くなり、不着火を起こしたり燃焼不良になります。噴霧状態が悪くなったら新しいノズルと交換してください。

注: ノズルは分解しない。

オフィス穴を針状のもので突ついたりしないでください。

ノズルの脱着方法 (図6)

脱着、装着時はバーナー付属工具のノズルレンチを使用してください。作業時は、スパークバーの位置をずらさないように、また装着時にノズルアダプターのネジ山をつぶさないように注意してください。



B. オイルストレーナー (図7)

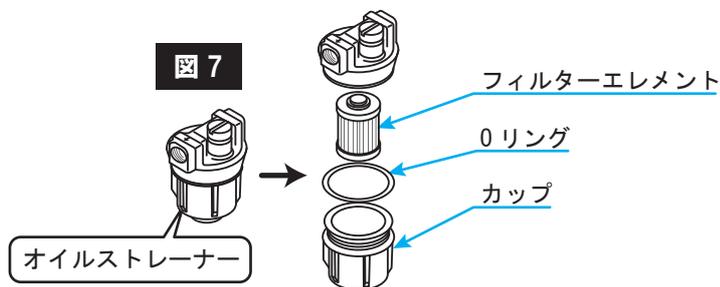
燃料中に含まれるゴミ、水分を取り除きオイルポンプやノズルの詰まりを防止します。

掃除の際は、下部のカップを外し、そこに溜まったゴミ、水等を捨て内部の濾紙を灯油などで洗って下さい。

掃除後はカップのナットを締めつけてください。

掃除しますと配管中にエアが入りますから、必ずエア抜きを行ってください。

注: カップの取り外し、締付時にカップのOリングを傷つけないようにする。



保守・点検

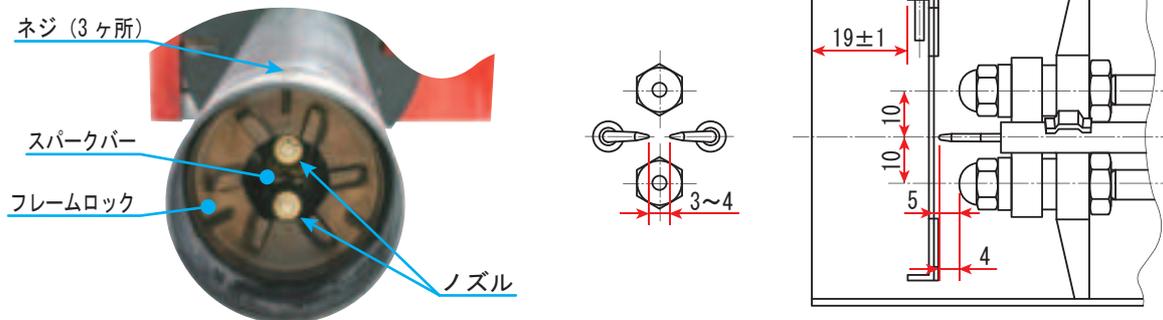
C. ノズルアッセンブリー

ノズル、ノズルアダプター、フレームロック、スパークバー、ノズルパイプ等の部品で構成されているバーナーの重要な部品です。特にスパークバーの先端にカーボンが付着したり碍子部に汚れやひび割れがあると正常なスパークをしません。またフレームロックの旋回羽の部分にカーボンの付着があると、不完全燃焼を起こしたりスパークバーとの間にリーク（漏電）を起こしたりします。

注：必ず定期点検時にチェックをする。

スパークバー、フレームロックの設定は、図8を参考にしてください。

図8 ノズル回り寸法図



D. バーコンリレー

フレームアイ（★）と合わせて燃焼中の明るさを感知し燃焼を制御する装置です。

バーコンリレーのタイムチャートは電源ONと同時にバーナーモーターが回転し、イグナイターからの高電圧がスパークバー間でスパーク（火花）させて15秒後、電磁ポンプが動作し燃焼に入ります。

燃焼に入ったらフレームアイが明るさを感知して10秒後にスパークが止まり安定燃焼に入ります。

警告：リセットボタンが働いた時は、必ず原因を取り除いてからリセットボタンを押して再起動する。

リセットボタンの再起動は繰り返さない。

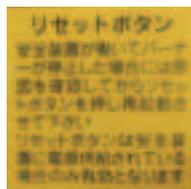
注意：リセットボタンはバーコンリレーに電源が供給（＝電源スイッチON）されていないとリセットできません。

図9



リセットボタンシール（黄色）

カバーに貼付け



リセットボタン

（★）フレームアイ

フレームアイが着火前に日光などの外部光を感知すると、疑似炎があると誤認し、正常に起動しません。

（3～5秒でロックアウト）。その場合は、かまどにカバー、平釜を設置し、燃焼室を暗くしてご使用ください。

※リセット方法のおさらい

安全装置が働いてバーナーが停止した場合には原因を取り除いてからリセットボタンを押してください。

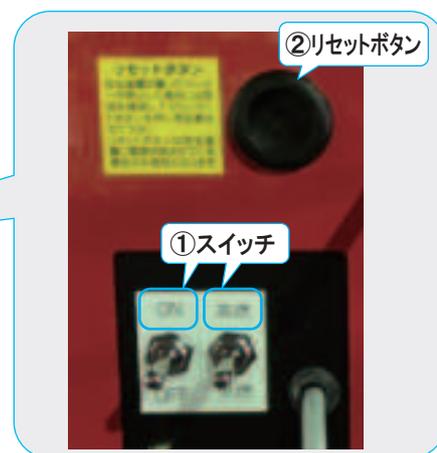
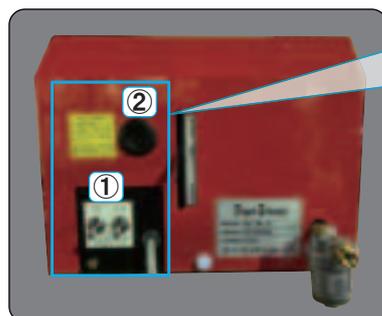
・操作手順

①スイッチを以下の状態にする。

・電源…ON

・火力…高燃

②リセットボタンを押す。



保守・点検

6. 保守・点検

御客様名	殿	設置日	年	月	日
御住所		作業日	年	月	日
機種	製造番号	作業者			
燃料	電源 (50・60) Hz	V			

	作 業	判 定	点検周期	処置・備考
油配管	タンク・ストレーナー掃除	良・否	定期点検	作業時目視確認
	エア抜き	良・否	作業時毎	
	配管油漏れ確認・増し締め	良・否	作業時毎	
	配管の損傷	良・否	作業時毎	
	タンク内の油量確認、水抜き確認	良・否	作業時毎	
電源	供給電圧の確認		定期点検	
	コード類の損傷	良・否	定期点検	
排気	カバーの変形の状況	良・否	定期点検	
	カバーの取り付けの確認	良・否	作業時毎	
	平釜とカバーの隙間の確認	良・否	作業時毎	
環境	燃焼空気外部取り入れ口の確認	良・否	作業時毎	
	バーナー周辺の確認	良・否	作業時毎	
燃焼	燃焼ノズル周り点検	良・否	定期点検	
	失火による安全動作の確認	良・否	定期点検	
	着火状態	良・否	作業時毎	
	燃焼音	良・否	作業時毎	
	火炎状況	良・否	作業時毎	
	その他点検		定期点検	お客様担当者

※定期点検は3カ月毎が基本です。

故障・対策

・バーナーに関する事項

状 況	原 因	点検箇所及び処理
バーナーモーターが 起動しない	ロックアウトしている	リレーのリセットボタンを押す。
	電源異常	電源スイッチを確実に入れる。
	電圧低下	定格電圧の85%以下では起動しない。 供給電圧を確認する。
バーナーモーターが 回転して油が 吐出されない	燃料タンクに油がない	燃料油を補充する。
	バルブが閉じている	送油バルブの確認、バルブが開でも 同状態時は配管の詰まりを確認する。
	ポンプ、配管にエアが入っている	配管内のエアを抜き、ポンプの エア抜からエアを抜く。 (P10参照)
	ストレーナーのつまり	ゴミ詰まりは分解掃除。(図7参照)
	ノズル不良	交換する。
バーナーモーターが 回転して油が出ても 着火しない	燃料油の不良	水、油スラッジ分の混入がないか 確認する。混入時は、燃料タンク、 配管等の掃除をする。
	空気量の多すぎ	空気量を調整する。(P10参照)
	油の噴霧不良	1. ノズルのゴミ詰まり等で噴霧不良時は ノズルを交換。
		2. 電圧降下によって油圧低下が起こり、 噴霧不良となる。元電圧の確認。
		3. 油供給不足やエア抜き不足。
	点火装置の作動不良 ◎スパークバー	1. スパークバーの位置、間隔を 規定通りに調整する。(図8)
		2. スパークバーの先端、碍子に カーボンが 付着していないか 点検し掃除する。
		3. 碍子にヒビがないか点検する。
油の供給不足	燃料タンク、油面をバーナーより 高くする。	
着火するが、すぐ バーナーが停止する	燃焼不安定	(燃焼状態が悪い)の項に従う。

故障・対策

状 況	原 因	点検箇所及び処理
点火時の振動 バックファイヤー	着火遅れ	(バーナーモーターが回転して油が出ても着火しない)の項に従って点検。
	油中にエア混入 かまど内に未燃ガスが溜まっている	P10の始動操作に従ってエアを抜く。始動時に排気が十分に行われているか調べ、不十分な場合は対策を考える。
	空気量不足	空気調整ダンパーを開く。(P10参照)
運転停止時にノズルから油滴が落ちる (後だれ)	エアが完全に抜けていない	エア抜きを完全に行う。
	噴霧油が燃焼筒周りにあたる	1. フレームロックとノズルの位置関係を図8を参考に調整しなおす。 2. ノズルの不良、交換。
モーターが3~5秒回って停止し、ロックアウトする。	疑似炎がある	燃焼室を暗い場所で燃焼させる。
燃焼状態が悪い 煙が出る	ノズルの噴霧不良	ノズルの交換。
	空気量不足、過多	1. 空気量の調整をする。(P10)
		2. 燃焼空気取り入れ部に物がいないか確認する。
	燃焼口に煤が付く	1. 空気量の調整をする。(P10)
	電磁ポンプの圧力の不安定	1. 配管、ポンプのエア抜きを行う。
		2. 配管、タンクの位置、バルブ等の閉塞を点検する。
		3. ストレーナーを掃除する。
	油が粗悪	4. 油の供給不足。
1. ゴミや水分を除去する。		
炎が保炎されていない	2. 変質油の混入を避ける。	
	1. フレームロックとノズルの位置関係を図8を参考に調整する。	
	2. ノズル不良など時は交換。	
	3. カーボンによるフレームロックの汚れ、掃除。変形時は交換。	
	4. 油に水が混入している。	
5. ノズル、燃油量の過多。		

※この対策で問題が解決されない場合は専門業者にご依頼ください。

お手入れ方法

アフターサービス

・修理について

ご使用中に異常が生じた場合は、お買い求めの販売店、または弊社までご連絡ください。

なお、ご連絡されるときは、機器の型式名及びお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証期間経過後の商品については、販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理いたします。

・保証について

当製品は厳重な検査を完了して出荷しておりますが、万一、通常のご使用の際に生じた故障に対して下記の保証規定にしたがって無償修理いたします。

<保証規定>

- ご購入日から満1年以内に通常に取り扱いにおいて、製作上の欠陥が発生し、弊社がその欠陥を認めた場合に限り、その修理の責任を負います。
- 次の場合は、有効期間内でも、有償となりますのでご了承ください。
 - ご使用を誤って故障したとき。
 - 誤った使用をした場合、また組立後、移動、あるいは輸送することから生じた損傷の場合。
 - 火災や地震など、天災地変、電圧降下や燃料、給水の供給事情によるもの及び人災による故障や損傷の場合。
 - 部品及び構造等に不当な修理や改造を加えた場合。
 - 日本国以外で使用した場合。
- 保証期間を経過したとき及び保証内容に該当しない故障の場合は実費ご負担願います。

※この取扱説明書やラベル類による指示、禁止、注意事項に反したご使用状態で万一事故が発生した場合、弊社は責任を負いかねます。

いつまでも快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが大切です。

なお、安全にお手入れをしていただくために、ゴム手袋などの着用をおすすめします。

● はじめてお使いになる前に

◇ 平釜の内部をきれいにするために、1度洗ってからご使用ください。

● 使用後のお手入れ

- 蓋は洗い、乾燥させてください。
- かまどやロストルは新聞紙などですすをこすり落としてください。
- バーナーは、ノズルの目詰まりを防ぐため、3ヶ月毎を目安に試運転させてください。

● 保管について

直射日光、雨、風の当たらない、湿気の少ない屋内に保管してください。

仕様

■基本スペック

容 量	満水		123ℓ
	適量		86ℓ
バーナー	出力	高燃時	126524KJ
		低燃時	63262KJ
熱 量	灯油消費量	高燃時	3.6ℓ/h
		低燃時	1.8ℓ/h
サイズ	組立時		1093×H687mm
	移動かまど基本セット収納時		φ950×H737mm
	灯油バーナーセット収納時		D450×W825×H450mm
質 量	移動かまど基本セット 52 kg + 灯油バーナーセット 23 kg		75kg

お問い合わせ

◎ 大和重工株式会社

● 本社・工場 / 〒731-0221 広島市安佐北区可部一丁目 21-23 TEL (082) 814-2101 (代)

ホームページで大和重工の製品情報をご覧ください。

www.daiwajuko.co.jp